お金を「ためる」「ふやす」を学ぶ

≪目標≫

・銀行にお金を預けると利息がつく仕組みを理解する。

≪展開≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時間** | **学習活動** | **資料** |
| 5  10  10  10 | 1. **本時のめあてを確認する。**   学習課題：  銀行に預けたお金はどうなるの？   1. **お金を銀行などに預金すると、どんないいことがあるか考える。**   （説）お金を銀行に預けると「安全・無駄使いしない・増える」といういいことがあります。   1. **なぜ、銀行に預けたお金が増えたか考える。**   （説）銀行にお金を預ける。  　　　→２号店を出したいパン屋さんがいる。  　　　→銀行からお金を借りる。  　　　→２号店オープン。たくさんのパンが売れてお金がもうかる。  　　　→銀行に利息をつけて、借りた金額より多く返す。  　　　→預けておいたお金に利息がついて金額が増える。  （説）預けたお金が他の場所で活躍してふえる仕組みのことをお金が「働く」と言います。   1. **銀行に預けたお金が増えるしくみをまとめる。**   預けたお金がほかの場所で活躍し、増える（お金が働く）  （説）お金を働かせる方法は、他にも会社の株式を買う、債権を買うなどもある。 | スライドＰ2～  ワークシート  スライドＰ8～  スライドＰ20  ワークシート |